



尾花沢市の子どもたちの読解力について考える

～新井紀子氏教育講演会～

9月15日(金)に『AI vs.教科書が読めない子どもたち』『AIに負けない子どもを育てる』の著者である新井紀子先生をお招きし、市内小中学校の先生方が参加しての教育講演会を開催しました。



テーマは「汎用的基礎読解力を踏まえた学力向上について」です。

今年度より尾花沢市では「尾花沢こども未来PLAN」の取組の一つに「読解力の育成」を掲げ、小学6年・中学1年～3年の児童生徒がリーディングスキルテスト(読解力を測るテスト)を受検しました。

その結果、リーディングスキル6項目のうち、尾花沢市の子どもたちには、「係り受け解析」「同義文判定」に課題があることが分かりました。

■「係り受け解析」について

「係り受け解析」とは、「何が、どうした?」という文の基本構造を読み解く力を測る要素です。長文になればなるほど、「主語-述語」の基本的な構造を適切に読み取ることができないということが心配されます。

【問題例】以下の文を読みなさい。

水にしずむ鉄でできたボルトとナットも、鉄より密度の大きい水銀にはうかぶ。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを1つ選びなさい。

ボルトは()にうかぶ。 ①水銀 ②鉄 ③水 ④氷

■「同義文判定」について

2つの文章の意味が、同じか違うかを判定する能力を測る要素です。記述式の問題で、自分が書いた解答と正答例が同じかどうかを判別できないということが心配されます。

【問題例】以下の文を読みなさい。

義経は平氏を追いつめ、ついに壇の浦でほろぼした。

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

平氏は義経に追いつめられ、ついに壇の浦でほろぼされた。 ①同じである ②異なる

【引用】「プレジデントファミリー 2023 冬」～読解力は家で伸びる～

新井先生からは、読解力を育成する対策として「RS(リーディングスキル)ノート」の活用を強く勧められました。具体的には、リーディングスキル6項目に対する学習アドバイス(フィードバック)をノートに貼って「RSノート」を作成し、教科書を使った学習法になります。このことにより、教科書を読んで学習する機会の設定のみならず、教科書の読み取り方の基本的スキルが身につきます。

委員会からは「RSノート」の活用についてリーフレットを作成しましたので、学習する際の参考にさせていただければ幸いです。



【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
 教育指導室長 工藤 雅史
 TEL 23-3330